

東日本大震災の被災地の復興に貢献するため、日遊協は全国の支部から4〜8人単位のボランティアチームを、宮城県石巻市を中心に波状的に派遣し始めた。今月のゲストは、最初の派遣チームとして4月20日から22日まで、東京都・関東支部のメンバーとともに活動した、日遊協ボランティア派遣隊総隊長でもある白石良二さん（日遊協理事）。「何かしてあげたい」という共通意識でつながったボランティア同士の一体感、現地の人たちから受けた感謝と思いやり、目を覆いたくなる惨状の一方で少しずつ見えしてきた復興の感触など、3日間の貴重な体験を語ってもらった。

ゲスト

日遊協ボランティア派遣隊総隊長  
日遊協理事

白石良二氏

# 全てが濡れて、めっちゃきつい でも、人たちの温かさで絆が

— お疲れ様でした。疲労は取れましたか。

**白石** 帰って1日は取れなかったです。泥出しと家具の搬出で9時から16時ごろまでの作業ですが、思った以上にきつかったです。1戸の家で4〜5日かかる感じでした。

— 行かれた当時は新幹線が復旧していなかったので、車を使い、東京の日遊協前を出発したのが20日午前9時前でした。途中の道路はどうでしたか。

**白石** 道路はアスファルトを敷いて大分直しており、混雑もそれほどなかったですね。仙台市内を通過し、石巻に午後3時ごろに着きました。まず、石巻専修大学に置かれた石巻災害ボランティアセンターに行き、作業の内容とか明日の集合時間を確認し、夕方だったので被災した現地を見て回りました。私は被災地を見るのは2回目

(3月22、23日に仙台、塩竈、多賀城市を視察) だけど、他のメンバーは初めてだから、テレビで見るとは違う印象だったと思います。こんな高さまで水が来るのかって、皆びっくりしていました。

## 石巻に約千人 作業内容は 指示に従う

— 21日から本格的なボランティア作業ですね。

**白石** 朝6時に仙台の宿泊先を出発、8時半過ぎにボランティアセンターに着きました。仙台・石巻間は58kmで、普通1時間程度ですが2時間半かかった。ボランティア渋滞だそう。石巻には約1000人のボランティアが入り、彼らの車に工事関係車両も加わるから非常に混んでいました。

センターで登録したらすぐ、リーダー役の1人から「グループの人、お願いします」と声がかかり、「うち、7名です」というと、リーダー役が「あ、助かります」といって、別の複数グループと一緒にバスに乗せられました。バスの中でその日の作業を説明されます。こちらから作業内容は選べません。作業は9割以上が一般住宅の家具、畳等の搬出、泥の搬出です。バスを拠点にして、スコップ、一輪車などセンターで貸してくれた道具を持って目的のお宅に向かいます。ボランティアを2か月とか長期に

## 東日本大震災の被害経過

**3月11日(金)** 午後2時46分、宮城県・牡鹿半島の東南約130キロ(深さ24キロ)を震源とする大地震。宮城県栗原市で震度7。マグニチュードは8・8で国内最大。地震工ネルギーは関東大震災の約30倍、阪神大震災の約1千倍。東北地方東海岸を中心に大津波

**12日(土)** 東京電力福島第1原子力発電所で1号機が水素爆発。炉心溶融の恐れ、海水を注入。半径20キロへ避難指示拡大。死者・不明1200人を超す。避難住民約21万人。南三陸町1万人不明ほか数万人安否確認できず。

**13日(日)** マグニチュードは世界最大級9・0と判明。原発1号機放射能漏れ、3号機も機能喪失。大量の孤立者、全容不明。

**14日(月)** 計画停電、初日から大混乱、経済にも大打撃。3号機も爆発。放射性物質拡散の恐れ2号機燃料棒すべて露出。株1万円割れ。日銀5兆円追加緩和。避難者63万人。大津波被害全容不明。

**15日(火)** 燃料棒露出続き、放射能が復旧阻む。1都7県放射能最高値。避難52万人、死者4800人。東証暴落。津波最大5・2キロ浸食。

**16日(水)** 死者5000人超える。輸送網寸断、届かぬ救援物資。原発6基の放射線量激しく変動。原発冷

## しらいし・りょうじ

1957年生まれ。北海道出身。北海道立函館商業高校卒。(株)阪急交通社、(株)東海ハイヤー、(株)東京流通卸売センターなどを経て、94年(株)千歳観光入社。99年同社取締役、2005年同社代表取締役社長。日遊協理事、日遊協ボランティア派遣隊総隊長。神奈川県遊技場組合理事。

聞き手=「日遊協」編集部

やっている人がリーダー役をやっています。リーダー役は仕事の内容をよく知っており、家の人から聞きながら作業を指揮します。2日間、同じ家で作業しました。

### 場所的には海岸線ですか。

**白石** 石巻市大街道南地区で、港から1・5kmと近いのですが、製紙工場などいくつかの工場が防波堤の役割をし、作業対象のお宅と周辺は壊れ方が比較的ひどくなかったようです。太い道路脇の家は、水がそのままドーンとぶつかっているから壊れ方もとすとすごい。海側のほとんどは瓦礫の山になっていて、家があったのかどうかもわからない。自衛隊がクレーン車などを使って、流されてつぶれた車を工場の敷地、個人の庭先、小路などから大通りに搬出して、一方で、わたしたちボランティアが個人のお宅で作業しているという状況です。でも、われわれが作業したお宅も2階まで浸水し、水が引けるのに1日以上かかったそうです。

## 泥を出し 家具を出し 腰も腕も痛い

具体的にどんな作業ですか。

**白石** 泥が各部屋にかぶっていて、スコップで泥を袋に詰めて出す。われわれも300袋ぐらい出しました。袋出して家脇に積んでいきます。われわれは2日間作業したが全部終わらなかった。あらゆる物が濡れていて重い。土嚢1つが結構いい重さになるし、家具も物や泥が詰まっているからめちゃくちゃ重い。畳の重さも半端じゃないですね。泥水をびっちり吸って4人で持てない畳もありましたからね。腰が痛いし、腕がばんばんになりました。作業にはそのお宅のご夫婦がつ

### ボランティア活動に行く前に

- ボランティアの心得
- ①依頼者の気持ち尊重して下さい
- ②「させてください」の精神で活動しましょう
- 依頼者のお宅に着いたら
- ①「石巻災害ボランティアセンターから来ました。」と伝えて下さい
- ②作業内容の確認をして下さい
- ③トイレの利用をお願いして下さい
- ④危険な場合や手の負えない場合は、断って下さい（後でセンターに報告しましょう）
- ⑤「ゴミ」判断する前に！依頼主に確認して下さい
- ⑥裸足が危険な屋内は、土足で入室を確認して下さい
- ⑦営利行為・政治的・宗教的活動へのお手伝いは断って下さい
- 活動が終わったら
- ①依頼者に、確認をお願いして下さい
- ②明日以降の活動継続を希望されるかどうかを、依頼主に確認して下さい。希望があった場合は、ニュース表（日時、内容、期間）に追記して下さい
- ③ケガをした人は、スタッフに報告して下さい
- ④ボランティアセンターに戻り、資材を返却して活動の報告をして下さい
- ※早く終わった場合は近くで作業がないかボランティアセンターに確認して下さい
- 《ケガをしたとき》
- リーダーに報告すること。ひどいときは、救急車を呼び、ボランティアセンターに連絡して下さい。救急車を呼ぶほどではないときも、ボランティアセンターに連絡して下さい。（避難所には、日本赤十字の方や、役所の方がいます。相談しましょう）

石巻市災害ボランティアセンターがボランティアに記している注意書

いていて、捨てる、捨てないを言ってくる。アルバム、書類もいっぱい出てくる。服は全部水につかっている状態で、捨てようかどうか悩んでいるときには、捨てないで別にしておく。そうでないものは全部外に出す。

臭いもすごい。夜、皆で一緒に食事でもしようかと思ったが、みんな臭いが付いているので、とにかく先ず風呂に入りた、風呂に入った外に出たくないから弁当買って帰る、そういう感じだった。想像した以上にきつい作業だと思いました。

却のための機動隊投入へ。円一時76円台。

**17日（木）** 自衛隊ヘリコプター放水、消防車5台で30トン放水。死亡6000人、安否の実態全くつかめず。被災地、病院でも食糧、水、薬がない。ボランティア活動始まり、受け入れ態勢も整備急ピッチ。

**18日（金）** 3号機連日の放水。2号機電源復旧急ぐ。死者6911人「阪神」超す。円一時82円、株一時300円上げ。

**19日（土）** 1、2号機電源ケーブル接続、5、6号機冷却機能回復、東京消防庁3号機に放水。農産物に基準超す放射能。死者7653人、行方不明1万1700人。東日本ガソリン不足続く。

**20日（日）** 80歳と孫16歳、9日ぶりに救出。2号機通電。3、4号機の燃料プールは不安消えず。善意集まるも、物流混乱。

**21日（月）** 政府、福島・茨城・栃木・群馬4県にホウレンソウ、牛乳などの出荷制限を指示。3号機から煙、2号機通電中断。放水効果が放射線量減。死者8805人。

**22日（火）** 死者9000人超す。行方不明1万3700人。3号機制御室に照明原発中枢に電源接続、冷却へ前進。原発から16キロの海で放射性物質が基準の16倍以上。出荷制限、4県に打撃。東北新幹線全線4月中に再開メド。

**23日（水）** 都の浄水場に放射性物質インフラ被害最大25兆円。計画停電長期化。

**24日（木）** 作業員、汚染水で被曝。茨城、栃木の水道水にも放射性物質。

インタビュー「明日を拓く」

「水が四方から  
渦を巻いて  
襲ってきた」

休憩はあるんでしょう。

白石 1時間の作業に10分の休憩  
があります。休憩中に家のご主人  
と話しましたが、水が四方から集



10分間の休憩でホッと一息つく。後方で別のボランティアグループも一休み（中央に白石氏）

知らぬ者同士  
声をかけあい  
教え合う

しか答えられませんでした

知らないグループ同士のボラ  
ンティアと一緒に作業するわけ  
ですね。

白石 ボランティア同士でも声か  
けていました。全国から来た知  
らない者同士ですが、移動ですれ  
違うたびに「お疲れさまでした」  
「ご苦労様でした」と声かけて  
いる。休憩時間中に別のボランテ  
ィアの人たちがお菓子を持ってきて  
て、お返しにこちらから「ジュー  
ス飲みませんか」と勧めて、コミ  
ュニケーションをとっていました。  
作業に慣れたボランティアの人た  
ちは、バスに乗る前にいろいろ注  
意してくれました。「初めてです  
か」と聞かれて「そうです」と言  
ったら、「その格好ではだめです  
よ。カップ借りてきなさい」と教  
えてくれる。みんなの服装を点検  
してくれて、「長靴はOKですね。  
ゴム手袋持って来てますね。それ  
もOKですね」。センターにビニ

東京は規制解除。ガソリン不足と値  
上げ。被災住民の深刻状況続く。  
25日(金) 炉の水漏れの可能性。原  
発30キロ以内自主避難へ、住民困惑  
26日(土) 汚染水の排出難航。復旧  
費自治体の負担ゼロへ政府方針。自  
衛隊10万人奮闘、疲労極限。  
27日(日) 2号機高濃度汚染水  
1000ミリシーベルト超す。東電誤発  
表で混乱。死者1万0804人、行方不  
明1万6244人。

28日(月) トンネル内に大量の汚染  
水。敷地内から微量のブルトニウム。  
29日(火) 汚染水回収急ぐ。全原発  
に非常代替電源義務付け。全閣僚で  
復興本部。避難所のため授業再開見  
えぬ被災地。

30日(水) 東電、1〜4号機廃炉。  
枝野長官「5、6号機も」。ガス復  
旧へ大阪など奮闘。主な高速道や15  
港湾再開も地方道不通。

31日(木) 復興へ新税、被災地国有  
化案など。原発地下水に1万倍ヨウ  
素。自衛隊、米軍で3日間、不明者  
一斉搜索へ。

4月01日(金) ビーク時25%、電力  
制限令今夏発動へ。汚染水、外に拡  
大ルート不明。車、飲食店、百貨店  
など消費急落。

02日(土) 汚染水、亀裂から直接海  
に流出。原発冷却へ注水継続。下水  
道深刻、遠い復旧。死者1万  
1938人、行方不明1万5478  
人。

03日(日) 対策も汚染水止まらず。  
放射能漏出抑止に数カ月見通し。  
読売新聞世論調査、政府原発対応評  
価せず64%、大連立を64%。

04日(月) 低濃度汚染水、海へ放出。



ボランティア隊の近くでは自衛隊が廃車の撤去

「これ食べて」  
地元の人が  
暖かくて

ール袋やカッパが置いてあるので、必要なら借りられる。そういうことも教えてくれる。ボランティア同士の一体感をすごく感じました。

——地元の人たちと話す機会はありませんでしたか。

**白石** 時間はあまりなかったですが、2日目の夕方、弁当買いにコンビニに行ったとき、みんな日遊

協ボランティア派遣隊のウインドブレーカーを着ていたので、地元の人が「お疲れ様です」とわざわざ声をかけてくれました。もう1人の方はわれわれ1人ひとりにゼリ1飲料を買ってくれて、「僕にできることはこれくらいなんで……。皆さんで食べてください」と差し出されました。前の日もコンビニで地元の人が「これから行くんですか。ありがとうございます」と声をかけてくれました。地元の人がすごく温かくて感動しました。

作業途中で  
帰るのは  
心苦しかったが

——メンバーの士気はいかがでした。

**白石** みんな一生懸命でしたよ。「ありがとう」「お疲れ様です」という言葉をかけられて。あの状況を見るとやっぱり、何かできることをしたいとか、自分に来るものは何だろうと考える。自分たちが帰るまでにこの家の作業を終わらせたい、自分たちが手掛けた所はきれいにして終わりたいという



1回は行ってみる価値があると——。

気持ちには芽生えていた。1日目より2日目と、どんどん作業に慣れてきてスピードアップが図れました。だから、22日に作業を途中でやめて帰って行くのは、すごく心苦しい気がしました。

——22日はお昼で作業をやめたんですね。

**白石** 帰途の時間を考えると仕方なかったです。でも、その日は霧雨から少し粒の大きい雨になり、センターから午前中でやめる通達が出ました。雨だと泥がすごいので無理しない。ボランティアの精神は無理しないことだそうです。

——石巻でのボランティア希望者が1日1000人とはすごいですね。

**白石** 土日はその1・5倍だそうです。すごいなと思いましたね。自分でテント持ち込んで、センターの脇に張って。敷地内はボランティアの人たちのテントで埋まっていました。風呂、いつ入るんで

高濃度水の保管優先。国会、大幅会期延長へ。

**05日(火)** 魚介も野菜と同じ規制値補正予算原案3兆円超え。汚染水の流出減少。

**06日(水)** 1号機窒素注入開始、水素爆発を阻止。小中155校、自校で再開できず。計画停電は4月中は実施せず。茨城3漁協、全面的に漁中止。震源付近海底24m動く、史上例がない。

**07日(木)** 宮城で震度6強、M7.4の余震。死者1万2690人、行方不明1万4736人、さらに多数の行方不明者の可能性。政府の電力対策まとまる。大口25%、小口20%、家庭15%。契約電力500キロワット以下(パチンコ店、コンビニ、町工場)は、節電、時間短縮などの自主計画の発表を。

**08日(金)** 義援金 死亡不明者35万円。原発危機、燃料棒なお一部露出。コメ作付け禁止へ基準、30キロ圏内も。

**09日(土)** 死者1万2915人、半数が高齢者。行方不明1万4921人。

**10日(日)** 統一地方選、民主党惨敗。石原都知事4選、「パチンコと自動販売機合わせて1000万キロ。そんな国はない」と発言。放射能高い20キロ圏外にも避難指示の方針。

**11日(月)** 福島、茨城で震度6弱、原発注水50分中断。

**12日(火)** 原発事故「レベル7」に、保安院発表。チェノブイリ級だが、放射能放出は10分の1と強調。プロ野球開幕。全国で観光宿泊キャンセル56万人。

**13日(水)** 東電、賠償金仮払いの方針、額、時期明示せず。仙台空港、

すかつて聞いたたら、「3日に1回ぐらい。風呂はすごく遠いんだ」っていつていました。われわれのボランティアとは質が違うかも知れないとは感じました。でも、何かしたいというのは皆同じなんですよ。

**ガラスの破片やレジオネラ菌危険だらけ**

——これから行く人たちへのアドバイスはありますか。

**白石** うちの協会のウインドブレーカーはいいですね。ボランティアということがわかるし、声もかけやすい。ただし、作業では汚れてもいいようなカップパ類を用意しないとだめですね。また、病気、怪我は多いみたいです。ガラスの破片がすごく多い。波で砕けて、泥の中に入っぱい入っている。ガラスは土嚢に詰められません。詰める土嚢を搬出するときに手を切ったりする。ガラスはガラスで分別するんですが、不用意に拾ったりすると手を切る。破傷風には十分気をつけてくださいと注意がありました。それからホコリに含

まれるレジオネラ菌ですね。あのほこりを吸うとだめみたいです。だから、防塵マスクとゴーグルが必要です。また、泥を土嚢に詰めるときは2人一組で作業するので息を合わせないとスコップが顔にあたったりして怪我をします。ヘルメット、安全靴のような固い底の靴は必須です。

——作業内容からして若い人向きですね。

**白石** そうですね。気持ちはあってもお年寄りや女性には大変かなでも、定年退職して年金暮らしをしているボランティアの方にも会いましたよ。よく来ましたねっていったら、「だって何かしてあげたいでしょ」っていつていました。

**募金もいいがみんな何かをしたいんです**

——(株)千歳観光では社員の方々の反応はどうでしたか。

**白石** たくさんメールをもらっています。「がんばってください」「気をつけてください」って。これから行くこうと思っている社員か

ら、出発前日に「次、ぜひ行かせてください」と電話が入ったり、帰ってきたら「お疲れさまでした」「どうでした」と、内容を尋ねる電話やメールが多かったですね。

みんなやっぱり何かをしたいんですよね。募金するとか、節電するとかがあるけれど、体を動かして目に見える何かをやりたいという思いがあるんじゃないですかね。

——今、思い返して満足感はおありですか。

**白石** ボランティアの人たちの温かさとかつながりを強く感じました。声をかけあう、困っている人たちを何とかしてあげたいという強い気持ち全員持っていましたね。われわれのメンバーには会社からある程度指示された状態で参加した人もいたでしょうが、もちろん何か助けてあげたいという気持ちを持ってはいたでしょうが、現地に入ったらみんなそういう同じ思いで来ているので、思った以上に絆を感じましたね。行ったほうがいいかと聞かれたら、「1回は行ったほうがいい」といいますね。私自身もそういう点で、行ってよかったと思っています。

(関連記事5ページに)

旅客便再開。

**14日(木)** 復興構想会議、震災復興税を提起、6月末に1次提言。来日外国人3月に半減、国際会議中止相次ぐ。沿岸28地点すべて地盤沈下。

**15日(金)** 石原都知事再度「パチンコ、自販機など政令で規制」発言。節電目標を緩和、8500万キロワットから3000万キロワットへ。一元管理へ震災復興基金新設を検討、財源消費税増税が首相の意向。

**16日(土)** 1号機への窒素注入、漏れで止められず。誘発地震、M5以上全国で1か月500回。政府、原発賠償へ新機構。外国客急減、観光地ガラガラ。

**17日(日)** 「原発安定へ6〜9か月」東電が工程表。避難住民、いつ帰れるか不満とあきらめ。

**18日(月)** 2号機プール燃料破損の可能性。消費税3%上げ検討。

**19日(火)** 汚染水移送は長期戦。原発賠償国が数兆円。震災死者92%が水死。

**20日(水)** 輸出さらに悪化も。住民の4割避難先不明。

**21日(木)** 原発20キロ圏封鎖。節電目標15%に緩和へ。復興基本法、与野党協議進まず、先送り。

**22日(金)** 風評被害も賠償検討。汚染水遮断に地下壁。

**23日(土)** 放射能、大気放出続く。被災病院復旧遅れ、4割が診療制限。

**24日(日)** 1、3号機周辺高汚染。統一地方選民主敗退。

**25日(月)** 死者1万4358人、行方不明1万1889人。避難者13万904人、仮設用地5万戸分にめど。自動車8社、生産57・5%減。